

オニヒトデ

分類：有棘目 オニヒトデ科（棘皮動物 ヒトデ綱）

学名：*Acanthaster planci*

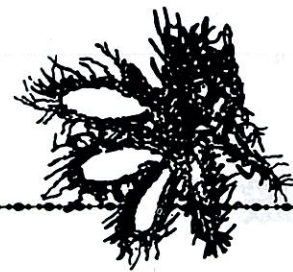
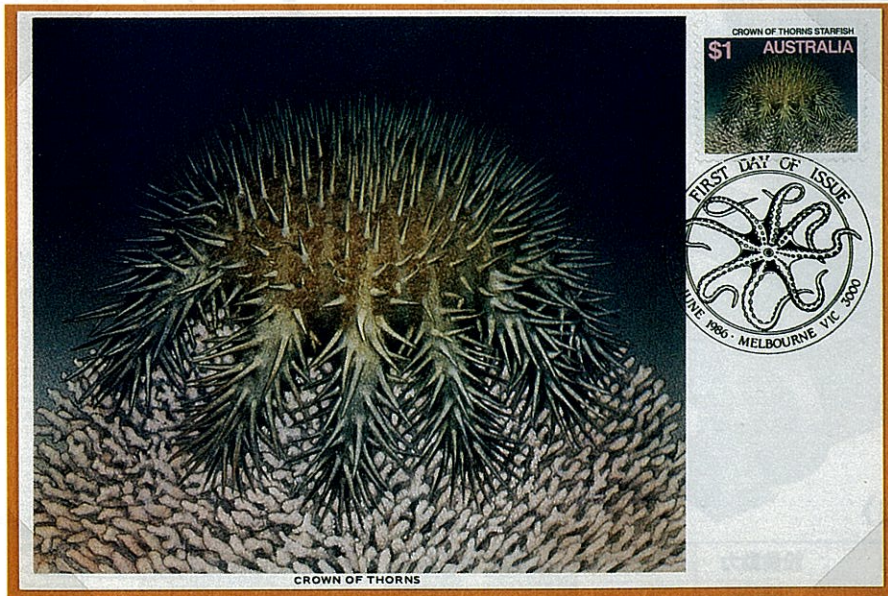
英名：Acanthaster

紀州半島以南の太平洋及びインド洋の造礁サンゴのあるところには殆んど生息分布する。最大のもので腕を含めて40cm位になる大型のヒトデで、輻数（腕）は13～14が普通で11～19の変異のものも見られる。腕の長さは盤の半径よりも少し長い、背側には15～35mmの長さで赤色の鋭い棘が密生する。体色は青灰色又は暗褐色。

オニヒトデは南太平洋海域で異常発生が伝えられており、沖縄本島にも被害が見られ、北上の気配がある。主に六放サンゴ類の共肉を餌とするが、餌の選り好みすることが知られており、ミドリイシ類は全滅、ハマサンゴ、ハナサンゴは多少の被害、ヒドロサンゴや八放サンゴ類は殆んど被害なしと報告されている。



オニヒトデの一種



アオヒトデ

分類：ホウキボシ目 ホウキボシ科（棘皮動物 ヒトデ綱）

学名：*Linckia laevigata*

英名：Blue sea star

沖縄以南から熱帯海域にかけてのサンゴ礁に広く分布する鮮やかな青藍色の美しいヒトデである、星形で中央の盤と腕からなり、腕の数は5ヶ（5輻）、腕の長さは18cm、口は盤の下面に開き肛門は背面にある。腕の下面には多数の管足をなして先端には吸盤が見られる、5ヶの腕の内部には胃の盲袋が入っている。皮下の骨板は接合せず可動連結され、変形することが出来る、二枚貝を好んで食べるが、甲殻類、クモヒトデ、多毛類をも捕食する。繊毛虫類が生殖腺に寄生してヒトデの体内を食べつくす。本属のものは欠けた腕が再生するのみならず、或る時期1～2本の腕を切り離し、その切り離した腕に5本の腕を具えた盤が再生する。

